

研究タイトル	へびイチゴのかゆみ止め作用の検証と原因の解明 複数のアプローチからかゆみ止めの秘密を探る
要旨	<p>本研究の目的は、漢方薬として使われているへびイチゴ（<i>Potentilla hebiichigo</i>）のかゆみ止め効果の原因を突き止めることである。実験に使用するへびイチゴの抽出液の製造年別成分の評価、へびイチゴの成分がヒトに与える影響の分析、へびイチゴに含まれる成分分析を行った。それぞれの手法は、高速液体クロマトグラフィーによる成分分析、ヒト皮膚線維芽細胞（Normal Human Dermal Fibroblasts; NHDF）の RNA を利用した遺伝子 Pathway の解析、へびイチゴの二次代謝物を抽出しデータベースと参照する代謝物 Pathway の解析を採用した。分析の結果、へびイチゴのサンプルが NHDF に有意差のある変化を及ぼし、かゆみ制御に関連するサイトカイン受容体を刺激する遺伝子 Pathway がへびイチゴの成分によって活性化されている可能性が明らかになった。また、へびイチゴの水溶性二次代謝物からは、かゆみと直接関与する Pathway が複数確認された。このことから、へびイチゴにはかゆみ止めの効果を持った代謝物が含まれている可能性が示唆された。</p>